

第 7 回 SC 委員長会議報告

下記の内容で第 7 回 SC 委員長会議が開催されました。

日 時： 2005 年 7 月 4 日（月）14:00～17:15

場 所： 自動車会館ビル 1F 会議室

出席者： 各 SC 国内分科会委員長，JNC 委員長，副委員長，顧問，幹事団他

議事内容：

(1) 開会挨拶

林委員長より、日頃の各 SC のご努力により成果をあげられていることへ感謝するとともに、今後も活発な活動をお願いしたい、また、今年秋、2007 年には日本での活動もあり、ご支援願いたいとのご挨拶があった。

(2) 幹事交代

中澤幹事が異動となり、三島幹事に交代となった。ただし、正式な承認を得るまでは幹事代理の扱い。

(3) 執行委員会 Agenda 概要について（林委員長）

6 月 1 日に開催された本部執行委員会でのポイントが紹介された。

- ・ 2006 年の本部各 SC 委員長の交代に関する状況
- ・ 2006 年大会の準備に関してオープニングパネルは候補に「Wind Power」と「外部の自然環境下での系統の設計と運用への影響」の二つが挙げられたが後者となりそう。ただし、前者とも協調をとっていく。
- ・ CIGRE のマスタープラン・アクションプランの更新に関して、ワーキングのメンバに入っており、今後ご協力をお願いしたい。
- ・ 2007 年秋のシンポジウムは日本開催となるのでよろしくお願いいたします。

(4) 2007 年シンポジウムの進め方について（塩沢幹事）

- ・ 8 月に幹事会を開催してメンバを決めたい。詳細は追って、実行委員会副委員長に相談したい。（加藤幹事）
- ・ 実作業は各委員の下に委員会を設けて進める。

(5) 2005 年 AORC 会議開催について（小海幹事）

- ・ 議長国は韓国であるが、今回の進め方に対して意見は出てないか？
→AORC 内は了解。本部 SC 委員長の了解をとる必要があり、準備中。
- ・ IERE 参加者をはじめ、予定に入れていただきたい。また、発表もお願いしたい。
- ・ 聴講だけでも参加可能か？
→IERE の参加者も OK としたいが、CIGRE の会合でクローズが原則なので、事前に各

SC 委員長経由で参加者を連絡頂きたい。

- ・ 事前にアナウンスしていただきたい。

→プログラムにはテクニカルコスポンサーとして AORC の名前を入れる予定。

- ・ 来春、日本での開催を要請される可能性があり、その節はご協力をお願いしたい。

(6) 2006 年日本代表レギュラーメンバ交代について（福井幹事）

- ・ 国内は 2 月の総会までは旧委員長、それ以降は新委員長の分担が原則である。
- ・ 本部 Rule では SC ミーティングやパリ大会等は出席が前提であり、参加しない場合は延長が認められなかったり、無断欠席 2 回で除名もありうる。
- ・ 2004 年に本部 SC 規約が改定され、任期は 2 年で延長が 2 回までとなった。
- ・ JNC は任期 6 年をお願いしており、今回は、B3, B4, C1, C4 が対象。

(7) 各 SC からの報告と質疑（各 SC 国内分科会委員長または代理）

資料に基づき報告があった。主な質疑は下記。

A1：宮池委員長（東芝）

- ・ A1.05（新機種）については動き無しとのことだが、C6 との連携は無いのか？

→今のところ特には出ていない。活動はこれからという段階。

A2：白坂委員長（日本 AE パワーシステムズ）

- ・ モスクワコロキウムでビザの関係で参加できなかったことがあり、日本開催時も注意が必要。

→身元保証人が必要な場合もあり、川村前委員長になっていただいたことがあった。

JNC としてもサポートするので相談いただきたい。

- ・ 2009 年の日本開催は、他 SC との関係もあるが、あまり重ならないのであれば継続して誘致活動をお願いしたい。

→現状、南アフリカが立候補しており 2006 年 SC 委員会で開催地決定予定。

- ・ レギュラーメンバ会議で中国の委員が欠席している件に関し、他 SC でも中国の委員が来なくなったという情報あり。

A3：香山委員長代理（三菱電機）（伊藤委員長欠席のため代理出席）

- ・ パリ大会論文は論文数を抑制するとの委員長表明が出ている。
- ・ 活動領域の拡大に伴い、開閉機器に加えて変成器、避雷器、コンデンサなど新領域に対応した WG を設立して駆け足で体制を整えてきた。次のステップとして、高電圧機器に関する課題を再調査して調査や活動が必要な領域がないか見極めていく。この新技術の技術動向を調査するリーダーに選出された。

B1：佐久間委員長（ビスキャス）

- ・ WG/TF でコレスポンディングのメンバが多いのは日本側の事情か？

→そのとおり。レギュラーメンバになることは海外出張が伴うこととなり、なかなか分科会参加社の協力を得ることが難しい。

- ・ 活動方法はミーティング中心か、通信手段を活用しないのか？

→コンビナーにもよるが、集まって議論するのが活動の基本。日本はコレスポンディ

ングメンバとして参加してもきちんと対応、貢献し評価はされている。ただし、会議に参加することが仲間入りの基本であり、1~2 日やれば流れも読めるがコレスポンディングメンバではこの点が不足してしまうのが問題。場所もヨーロッパ中心。

B2：深海委員長（東北電力）

- ・WG はそれぞれ対応できているのか？
→8 割くらいの参加率である。

B3：後藤委員長（東京電力）

- ・WG への参加は私より特にお願いしてほぼ 100%参加いただいている。
- ・国内分科会を年に 1~2 回開催しているが、毎回代理が多いので、年に 1 回位は正規委員に出てもらおうようお願いしている。あまり効果はないが。
- ・2005 年日本コロキウム参加申し込みは 7 月 1 日であったが、PR は継続する。
- ・ビザの問題は発生しているか？
→今のところは出ていない。順調に進行。
- ・国内の PR はどのようにしているのか？
→主要メンバ、工務部長会、HP など。
- ・電気学会の学界情報はお金がかからないので活用願いたい。

B4：林委員長（電力中央研究所）

- ・2007 年日本シンポジウムのテーマを考えたい。
→正式には本部マター。間に合わない可能性もあるので、こういう内容で準備中という程度の資料とする。また、事前に JNC 幹事に送付いただく。
→B4 の本部へも直接働きかけてみる。

B5：竹内委員長（中部電力）

- ・WG 活動ではコレスポンディングメンバであっても、作業分担はレギュラーメンバと同様に行なっている。
- ・2004 年に日本が行った 2007 年コロキウムへの立候補は、2006 年に決定される 2009 年コロキウムへの前哨戦との位置づけ。今のところ特に日本が有利ということではない。

C1：八木委員長（関西電力）

- ・2007 年シンポジウムの日本開催に関して、8 月に大阪で実行委員会幹事会を開催したいので協力をお願いしたい。

C2：杉原委員長（中国電力）

- ・パリ大会の論文数が多いので、今後は絞ることも本部では考えている。
→質がベースだが、今後変わりうる。
- ・国内委員会 HP のレスポンスが無いのは？
→閲覧をカウントしてないが見ていただいていると思う。

C3：北村委員長（関西電力）

- ・活動は軌道に乗り始めたと考えてよいのか？

→各社の活動内容を出し合って調査し始めたという点では一歩踏み出した。

- ・ 難しい内容だが方向を出し始めた点は評価。

C4：石井委員長（東京大学）

- ・ 旧 SC36 関連の Power Quality 等は CIGRE より IEC へ活動の中心が移った。
- ・ SC 委員長はイタリアの Nucci 氏に交代予定と聞いている。

C5：内藤委員長（東京電力）

- ・ AORC への参加は予定しているか？
→本日の会議を受けて詳細を決定する。
- ・ オーストラリアのメンバがおり、人脈をうまく使うことを考えて頂きたい。

C6：平井委員長代理（東京電力）（小田切委員長欠席のため代理出席）

- ・ WGC6.03 は小田切委員長が提案したものか？
→そのとおり。

D1：長尾委員長（豊橋科学技術大学）

- ・ AORC に関し、マレーシアの次は日本の可能性が高いが、D1 の可能性はあるか？
→これまでこの情報を頂いていなかったもので、現時点では特にディスカッションして
いないが、必要ならば検討する。
- ・ 2007 年 SC 会議としてベルギーと韓国が立候補しているとの情報があり、日本は韓国
を支持予定。

D2：山崎委員長（九州電力）

- ・ 2007 年 SC 会議はスイスに決定。日本は 2009 年開催を打診中。
- ・ 技術の進展が著しい分野であり、新しいテーマが次々と出てきて活動メンバが不足し
ている WG もある。
- ・ メキシコでの SC ミーティングへ 14 名参加は多いが？
→積極的な参加は感謝されている。ミーティング自体にもオブザーバ参加した。

(8) その他

2009 年日本開催を計画している SC を確認したところ、A2, B5, D2 より要望が出された。費用の問題もあるので、今後 JNC と調整させていただきたい。

(9) 閉会挨拶

田井副委員長より、CIGRE をグローバルなノウハウ（ベストプラクティス）の情報交換の場として活用すると同時に、日本のプレゼンスを高めるよう活動をお願いしたいとのご挨拶があった。

懇親会： 17:30～19:00、アルカディア市ヶ谷にて懇親会を実施した。

以 上